

日見の風



令和4年7月20日発行
文責：校長 三浦輝之

日見小学校学校目標：「豊かな心もち、自ら求めて学ぶ意欲と実践力のある
健康でたくましい日見っ子の育成」

〈めざす子ども像〉

ひ：ひとみ輝く元気な子
みっ：自ら学ぶ子
こ：心豊かな子

**夢やあこがれに向かって
伸びよ日見っ子！**

いよいよ待ちに待った夏休み ～健全で充実した夏休みに～



。〈2年生：川探検〉
今年度の1学期も、コロナ禍が続きました。しかし、これまでの経験を生かし、教育活動を止めることなく進めてきました。主な行事では、昨年度実施できなかった歓迎遠足・歓迎集会を実施することができました。6年生が最高学年として、かわいい1年生を気遣い、そして、1年生はそばに優しく、頼もしい6年生がいてくれることに安心感をもつ機会となりました。まさに、「1年生がいるから6年生になれる。6年生がいるから1年生になれる。」という共生の機会でした。また、今年度は、5月に運動会を開催できました。応援合戦もマスクをしたままでしたが声を出すことができました。競技中は、熱中症予防の観点からマスクを外して活動しました。熱中症もコロナも発生せず、無事に終わることができたことに安堵しました。子どもたちの活躍も、スローガンの「心を一つに、はげまし合い、みんながかがやく、笑顔あふれる運動会」にふさわしいものでした。さらに、1学期の5月に実施できたことには大きな意義があります。それは、高学年のリーダー性を高めたり、学年・学級の団結を強めたりする機会となったからです。頼もしい高学年に育ちつつあります。

さて、明日から、子どもたちが心待ちにしていた42日間の夏休みが始まります。コロナ感染症対策を取りながらも、長い夏休みだからこそできる体験をたくさんして、有意義な夏休みにしてほしいと思います。また、家族の一員としての役割を担い、家族と過ごす時間を大切にして、すてきな思い出をたくさんつくってほしいとも願っています。保護者の皆様もくれぐれも御自愛ください。

夏季休業中の行事予定

7月25日(月) ～29日(金) 8月9日(火) 10日(水) ～15日(月) 8月19日(金) 9月 1日(木)	保護者面談 ※ 2年2組は、担任の研修の関係で、翌週も別途計画。 登校日 平和祈念集会 学校閉庁日(週休日も含め、この期間は学校が締まります。) 登校日(ランドセルでの登校) 第2学期始業式(ランドセルでの登校)	〈保護者面談について〉 保護者面談の実施に際しましては、御理解・御協力を賜り誠にありがとうございます。1学期間の成長点や課題等を共有したり、家庭での様子をうかがったりする機会とさせていただき、2学期からの指導につなげていきたいと考えています。 なお、感染防止対策を十分に行ったうえで実施いたします。暑い中に恐縮ですが、よろしくお願いいたします。
※ 日見っ子アフタースクールの「サマースクール」は、7月21日(木)、28日(木)、8月4日(木)、18日(木)、25日(木)の9:00～11:30の時間に行う予定です。(コロナ感染による変更もあり得ることを申し添えます。)		

9月の行事予定

1日(木) 第2学期始業式	18日(日) 家庭の日
5日(月) 夏休みの作品展(～8日)	19日(月) 敬老の日
7日(水) 修学旅行1日目(6年)	20日(火) 交通安全の日
8日(木) 修学旅行2日目 熊本・阿蘇方面 午前中5時間授業、給食・フッ化 物洗口後、13:40ごろ下校(1～5 年) アフタースクール	21日(水) 秋の全国交通安全運動(～30日)
12日(月) 縦割り清掃再開	22日(木) フッ化物洗口 委員会活動 アフ タースクール
15日(木) フッ化物洗口 クラブ活動 アフ タースクール	23日(金) 秋分の日
	29日(木) フッ化物洗口 クラブ活動 アフ タースクール

「ゲーム依存」～お子様は、大丈夫ですか？夏休み期間は要注意です。～



近年のスマートフォン等の急速な普及に伴い、高い利便性を得る一方で、インターネットやコンピュータゲームにのめり込み、過剰な利用が習慣化することにより、日常生活や社会生活に著しい悪影響を及ぼすことが問題となっています。このような中、令和元年5月に、世界保健機関（WHO）において、「ゲーム症＜障害＞」が、「物質使用症＜障害＞群または嗜癖（しへき）行動症＜障害＞群」のカテゴリーに収載されました。

初めのうちは楽しんでいたネット・ゲームも、だんだんと使用時間や頻度がエスカレートしていくと生活の中で優先順位が上がっていきます。ネット・ゲームの使用が生活の中心になってしまえば、日常生活や社会生活に様々な支障を生じてしまいます。それでもなお、ネット・ゲームの過剰使用を継続し、自分一人の力だけでは解決できなくなってしまってコントロール障害を起こしている状態が、「ネット・ゲーム依存症」なのです。

ネット・ゲームは、適度に使う分には楽しいツールですが、使い過ぎると「からだ」「こころ」「生活」に様々な悪影響が出てしまうことがあります。また、ネット・ゲーム等が原因で、友達とのトラブルに発展することもあります。そうならないためにも、特にこの夏休み中は注意が必要です。ぜひ家庭でのルールづくりに取り組んでみてください。そこで、ルールづくりのポイントをいくつか紹介します。参考にして、実践してみてください。

＜ルールをつくる時＞

- ① 子どもと一緒に考える。（ゲームの内容、種類、使用対象年齢等も確認する。）
- ② 家族みんなで守ることができるルールを考える。
- ③ 過剰な使用による弊害（睡眠不足等）を防ぐ目的で、使用時間を話し合う。
- ④ 生活の中でネット・ゲームの優先順位を2番目以下にすることを目標として考える。
- ⑤ ネット・ゲーム以外で子どもと一緒に楽しめることを見付ける。
- ⑥ 守れなかったときのルールも決めておく。
- ⑦ あんしんフィルター等の設定をする。

＜ルールをつくったあと＞

- ⑧ 保護者が手本になる。
- ⑨ つくったルールを見える化して、守ることができたら褒める。
- ⑩ 子どもの成長に応じて見直していく。

子どもたちが成長していく中で、コンピュータやスマホを切り離すことは難しくなります。いかに健全に有効に活用できるかが重要です。心身共に成長過程のど真ん中にある子どもたちを守るためにも、また、2学期のスタートを万全のコンディションで迎えるためにも、ぜひこの夏休みに取り組んでみてください。

